

(2-2) 桂川右岸流域下水道（污水）

桂川右岸流域下水道は、市街地の連担した桂川右岸流域の3市1町の区域を対象とした京都府における最初の流域下水道であり、昭和47年度に事業着手し、昭和54年10月に供用開始した。

この地域は、JR東海道本線、阪急京都線および国道171号等の主要な路線が地域内を南北に縦断しているため、高度経済成長期から急激に都市化が進行し、旧住宅地及び新住宅地並びに企業敷地等が混在しているとともに、下流域には阪神地域の都市群が存在していることから、公共用水域の良好な水質を保全するため、下水道整備を進めている。

また、下水汚泥の有効利用を推進するため、石炭火力発電所の代替燃料を製造する下水汚泥固形燃料化施設を平成29年4月から稼働し、焼却炉と併用している。

なお、処理場内の水処理施設の上部空間を府立洛西浄化センター公園（アクアパルコ洛西）として利用、処理水を勝竜寺城公園（長岡京市）で再利用、下水熱を管理棟空調の熱源として利用するなど、施設や資源を有効利用している。

(令和7年4月1日現在)

		全 体 計 画 概 要	事 業 実 績
関 係 市 町		京都市（南区、西京区、伏見区）、向日市、長岡京市、大山崎町	
処 理 面 積		5,161ha	4,208 ha
処 理 人 口		338,370 人	349,725 人
排 除 方 式		分流式	
処理能力水量		211,000m ³ ／日	211,000m ³ ／日
	標 準 法	—	—
	窒素・リン対応	211,000m ³ ／日	211,000m ³ ／日
放 流 先		桂川	
管路施設	東 幹 線	9.8km	昭和58年1月供用
	西 幹 線	6.0km	昭和54年8月供用
	南 幹 線	1.0km	昭和54年7月供用
	計	16.8km	全線供用
終末処理場施設	名 称	らくさい 洛西浄化センター	
	所 在 地	京都市伏見区淀大下津町他、長岡京市勝竜寺樋ノ口他、乙訓郡大山崎町字下植野他	
	面 積	17.3ha	
	処 理 方 法	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法＋急速ろ過 凝集剤併用型ステップ流入式多段硝化脱窒法＋急速ろ過	
	汚 泥 処 理	濃縮・消化・脱水・焼却(固形燃料化を含む)	
法 手 続	都 市 計 画 決	当初 昭和48年3月19日	最終変更 平成14年8月13日
	都市計画法事業認可	当初 昭和48年3月20日	最終変更 令和6年3月14日
	下水道法事業計画策定	当初 昭和48年3月25日	最終変更 令和6年2月8日
供 用 開 始		昭和54年10月18日	